一般社団法人 日本エネルギー学会
第 95 回定時総会

日　時　　2020 年 2 月 26 日（水）午後 1 時より

会　場　　学士会館（202 号室）

東京都千代田区神田錦町 3-28

TEL. 03-3292-5936（代）

議　　案

第１号議案　2019 年１月１日から 2019 年 12 月 31 日までの
事業ならびに会員状況報告の件

第２号議案　2019 年１月１日から 2019 年 12 月 31 日までの
貸借対照表，正味財産増減計算書，財産目録の承認の件

第３号議案　2020 年度理事選任の承認の件

第４号議案　2020 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

一般社団法人
日本エネルギー学会
JIE The Japan Institute of Energy

第 95 回定時総会ならびに関連行事

次　第

13:00～14:10　第 95 回定時総会　(202 号室)

１．開会
２．会長挨拶
３．議案審議
４．閉会

14:20～14:50　2019 年度日本エネルギー学会表彰式　(202 号室)

１．開会
２．選考経過報告
３．表彰楯贈呈
４．会長挨拶
５．閉会

15:00～16:00　受賞者講話　(202 号室)

1. 未利用排熱および再生可能熱エネルギーの高度有効利用に関する研究
東京農工大学　秋澤　淳

2. 輸送用燃料向けセルロース系バイオエタノール製造技術の開発
ＪＸＴＧエネルギー株式会社
王子ホールディングス株式会社

3. 本会の発展に対する功績
元当会会長　群馬大学特任教授　宝田　恭之

4. 本会の発展に対する功績
京都大学名誉教授　三浦　孝一

16:20～17:20　特別講演　(202 号室)

「未来一考：触媒科学の進展と社会実装」
旭化成株式会社顧問、元触媒学会会長　永原 肇

17:30～19:00　祝賀懇親会　(210 号室)

第１号議案　2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までの事業ならびに会員状況報告の件

１．本会事業報告

１－１　委員会、会合等

○**定時総会**(及び表彰式/受賞者講話/特別講演/祝賀懇親会)

第 94 回定時総会を 2019 年 2 月 26 日（火）13:10 から学士会館にて開催し、次の議案について審議の上、原案どおり承認された。

第１号議案 平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの事業ならびに会員状況報告の件
第２号議案 平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの貸借対照表，正味財産増減計算書，財産目録の承認の件
第３号議案 平成 31･32 年度理事・監事の承認の件
第４号議案 平成 31･32 年度補欠理事選任の承認の件
第５号議案 平成 31 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件
第６号議案 正会員会費変更の承認の件

【特別講演】「民族性と科学技術のジレンマ」
山本　尚(中部大学教授、名古屋大学名誉教授、元日本化学会会長)

○**理事会**　6 回

(1) 平成 30 年度第 5 回定例理事会　2019 年 1 月 30 日（水）15:00～17:00
於：全国家電会館会議室、出席者　13 名（理事　19 名）
〔審議事項〕
会長および専務理事から業務報告
1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 補欠理事 承認の件
4. 第 94 回定時総会議案 承認の件
① 第１号議案　平成 30 年１月１日から平成 30 年 12 月 31 日までの事業ならびに会員状況報告の件
② 第２号議案　平成 30 年１月１日から平成 30 年 12 月 31 日までの貸借対照表，正味財産増減計算書，財産目録の承認の件
③ 第３号議案　平成 31･32 年度 理事・監事の承認の件
④ 第４号議案　平成 31･32 年度 補欠理事選任の承認の件
③ 第５号議案　平成 31 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件
④ 第６号議案　正会員会費変更の承認の件
〔連絡事項〕
5. 平成 30 年度の諸検討課題 進捗報告の件
6. 学生のための国際会議発表支援募集の報告の件
7. 各部会，委員会，各種行事 進捗報告の件
8. その他（今後の理事会スケジュール等）

(2) 2019 年度第 1 回臨時理事会　2019 年 2 月 26 日（火）14:00～14:10
於：学士会館会議室、出席者　16 名（理事　21 名）
〔審議事項〕
1. 2019･2020 年度　役員選任の件
2. 2019･2020 年度　委員会委員長 選任の件

(3) 2019 年度第 2 回定例理事会　2019 年 3 月 29 日（金）15：00～17：00
於：全国家電会館会議室、出席者　18 名（理事　21 名）
〔審議事項〕
会長および専務理事から業務報告（2 月下旬まで）
1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告（2 月末）の件
4. 2019 年度表彰委員長及び委員 選任の件

5. 2019・2020 年度 100 周年記念事業委員会の設置、及び委員長、委員 選任の件
6. 2019・2020 年度専門部会部会長 選認の件
7. 規程の改定 承認の件
8. 研究会新設 承認の件

〔連絡事項〕

9. 第 94 回定時総会 報告の件
10. 理事辞任の件
11. 2019 年度の諸検討課題の件
12. 各部会，委員会，各種行事進捗報告の件
13. その他（今後の理事会スケジュール等）

(4) 2019 年度第 3 回定例理事会　2019 年 6 月 24 日（月）15：00～17：00

於：全国家電会館会議室、出席者　15 名（理事　20 名）

〔審議事項〕

会長および専務理事から業務報告（5 月下旬まで）

1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告（5 月末）の件
4. 名誉会員・参与 選任の件
5. 2019 年度「論文賞」受賞者承認の件
6. 規程の改訂 承認の件
7. テクニカルツアー、見学会と旅行業法の件

〔連絡事項〕

8. 100 周年記念事業の進め方について
9. 2019 年度の諸検討課題進捗状況について
10. 消費税増税への対応について
11. 表彰委員会のスケジュールについて
12. 各部会，委員会，各種行事進捗報告の件
13. その他（今後の理事会スケジュール等）

(5) 2019 年度第 4 回定例理事会　2019 年 9 月 20 日（金）

書面審議　20 名（理事　20 名）

〔審議事項〕

会長および専務理事から業務報告（8 月下旬まで）

1. 議事録承認の件
2. 会員入退会承認の件
3. 収支承認(8 月末)の件
4. 規程の改訂　承認の件

〔連絡事項〕

5. 旅行業法の件(進捗報告)
6. えねるみくす購読方法に関するアンケート結果の件
7. 各部会，委員会，各種行事進捗報告の件
8. その他（今後の理事会スケジュール等）

(6) 2019 年度第 5 回定例理事会　2019 年 11 月 21 日（木）13:00～15:00

於：日本大学理工学部駿河台キャンパス 1 号館会議室、出席者　14 名（理事　20 名）

〔審議事項〕

会長および専務理事から業務報告（10 月下旬まで）

1. 議事録 承認の件
2. 会員入退会 承認の件
3. 収支報告(10 月末)、年度末収支見通し報告の件
4. 「2019 年度学会表彰」学会賞，進歩賞，功績賞，奨励賞 承認の件
5. 2020･2021 年度 支部長選任 承認の件

6. 旅行業法の件
7. 規程の改訂 承認の件
8. 第 95 回定時総会招集 承認の件

〔連絡事項〕

9. 100 周年記念事業の件
10. 2019 年度 諸検討課題について
11. 第 16 回維持会員懇談会開催の件
12. 各部会、委員会、各種行事進捗報告の件
13. その他（今後の理事会スケジュール等）

○監事会（監査） 1 回

・2019 年 1 月 21 日（月）15:00～16:00、学会事務局会議室において監査が行われた。
平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日までの会計および業務監査

1. 平成 30 年 12 月末における貸借対照表、正味財産増減計算書および財産目録の承認
2. 事業ならびに会員状況についての承認
3. 銀行預金通帳の照合

○名誉会員・参与懇談会 1 回

・2019 年 2 月 26 日（火）11:40～12:40 に、学士会館にて開催された。

○企画委員会 2 回(3/18, 10/10)

(1) 第 1 回（3/18）

1. 平成 30 年度第 2 回企画委員会 議事録の確認

［審議事項］

2. 100 周年記念行事関するフリーディスカッション
3. 2019 年度の諸検討課題について
   ① 学会誌の完全電子化（機関誌えねるみくす）
   ②「機関誌えねるみくす」の魅力アップ
   ③ 学会ホームページの魅力アップ
   ④ 正会員の差別化
   ⑤ 広告収入の増加策
4. EECB 部会・EECB シミュレーション研究会の設置について

［連絡事項］

5. 部会規程の見直しについて
6. 各部から活動報告（近況報告、前回より進捗あれば）
7. イベント案内

(2) 第 2 回（10/10）

1. 2019 年度第 1 回企画委員会 議事録の確認

［審議事項］

2. 100 周年記念事業について
   ① 専門部会・支部の意見集約結果
   ② 今後の進め方
3. 旅行業法への対応について
4. 2019 年度の諸検討課題について
   ① 学会誌の完全電子化（機関誌えねるみくす）
   ② 「機関誌えねるみくす」の魅力アップ
   ③ 学会ホームページの魅力アップ
   ④ 正会員の差別化
   ⑤ 広告収入の増加策

［連絡事項］

5. 各部から活動報告（近況報告、前回より進捗あれば）
6. イベント案内

○**総務委員会**　4 回（3/8, 6/7, 9/6, 11/8）

(1) 第 1 回総務委員会（3/8）書面審議
　1.「部会規程」（改訂案）の件
　2.「旅費規程」（改定案）の件

(2) 第 2 回総務委員会（6/7）書面審議
　1.「学生のための国際会議発表支援制度規程」（改訂案）の件
　2.「会員の入会等届出要領」（改訂案）の件
　3.「理事、監事及び会長の選出に関する規程」（改訂案）の件
　4.「表彰規程」（改訂案）の件
　5.「表彰規程実施要領」（改訂案）の件
　6.「著作権規程」（改訂案）の件

(3) 第 3 回総務委員会（9/6）書面審議
　1.「講演料及び原稿料支払規程」（改訂案）の件
　2.「広告掲載要領」（改訂案）の件
　3.「会誌投稿原稿別刷注文要領」（改訂案）の件
　4.「会誌投稿原稿の掲載料要領」（改訂案）の件
　5.「会誌の販売価格要領」（改訂案）の件
　6.「講演講習会要旨集発行・販売規程」（案）の件
　7.「講演講習会要旨集販売要領」（案）の件

(4) 第 4 回総務委員会（11/8）書面審議
　1. 関西支部規程（改訂案）の件
　2. 職員就業規則（改訂案）の件
　3. 規程要領作成要領（改訂案）の件

○**表彰委員会**　3 回(5/14, 7/19, 11/5)

・本年度論文賞受賞候補者の承認(2 件)（5/14)
・本年度選考委員の承認(7/19)
・本年度学会賞、進歩賞、功績賞、奨励賞受賞候補者の決定（11/5)
　学会賞（学術部門）1 件、学会賞（技術部門）1 件、
　進歩賞（学術部門）3 件、進歩賞（技術部門）2 件、
　功績賞　2 件、奨励賞　8 件
・その他表彰選考委員会　11 回
　論文賞－編集委員会(2018/12/7, 2019/2/19, 4/4)
　奨励賞－液体微粒化部門(2018 年 11 月, 12/17)
　奨励賞－バイオマス部門(2018/11/2, 2019/1/17)
　奨励賞－大会部門（2019/3/15, 10/2)
　奨励賞－石炭科学会議部門（2019/7/25, 10/29)

○**部会長･支部長連絡会**　2019 年 11 月 21 日（木）15：10～16：20
　於：日本大学理工学部 駿河台キャンパス 1 号館会議室

・情報提供
　100 周年記念事業への取り組みについて
　旅行業法への対応について
・各部会･支部活動の今後について（近況、今後の予定など）

○**編集委員会**

2 誌体制移行に伴い、平成 29 年 6 月以降、各紙を担当する 2 編集小委員会の体制に移行した。

・日エネ学会誌編集小委員会　2 回(2/19, 4/4)
・日エネ学会機関誌えねるみくす編集小委員会 4 回(3/15, 5/14, 9/6, 12/2)
・総説特集および講座について、2019～2020 年度の編集計画を策定
・会誌 9 月号（Annual Review 号）の発行
・投稿論文について、Web 上（J-STAGE）で最新号まで公開継続。
・論文賞表彰について審議

○**出版委員会**　1回(9/6)（編集委員会と合同会議）

GH研究会50回記念企画「ガスハイドレート研究の足跡～GH研究会50回記念誌～（仮題)」について検討した。

○**第28回大会実行委員会**　2回(3/15, 10/2)

・**第28回年次大会**(8/7,8：関西大学千里山キャンパス)(研究発表:147件)(参加者:304名)

【2019年度「論文賞」表彰式および受賞者講演】

【特別講演】

1.「エネルギーキャリアとしてのCO2 フリーアンモニアの合成実証とサプライチェーンの将来像」
藤村 靖（日揮（株））

【基調講演】

1.「褐炭と重質油のハイドロカーボノミクス」
森本 正人（産業技術総合研究所）

2.「産総研におけるメタンハイドレート資源開発に関する研究について」
天満 則夫（産業技術総合研究所）

3.「固体バイオ燃料国際規格化研究会の立ち上げと今後の取り組み」
澤井 徹（近畿大学）

4.「気候変動対応を踏まえた長期のエネルギー政策の動向」
秋元 圭吾（地球環境産業技術研究機構）

5.「スマートグリッド・エコノミクス：フィールド実験・行動経済学・ビッグデータが拓くエビデンス政策」
依田 高典（京都大学）

6.「シミュレーションによるガス化を経由するリグニンから1,3-ブタジエン合成プロセスの開発」
花岡 寿明（産業技術総合研究所）

【若手研究者勉強会講演会】

「持続可能な製鉄業を目指して～日本鉄鋼協会 エコメタラジーフォーラムの取り組み～」
丸岡 伸洋（東北大学）

○**100周年記念事業委員会**　2回(5/14, 11/5)

・100周年記念事業の進め方について(5/14)

・100周年記念事業に関する部会・支部の意見集約結果(11/15)

・100周年記念事業の今後の進め方・体制(案)(11/15)

○**第16回維持会員懇談会**（11/21:日本大学理工学部　駿河台キャンパス1号館)(参加者　61名)

【講演】「石炭ガス化炉のマルチフィジクス・スーパーシミュレーション」
東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻・教授　東京大学副学長　吉村 忍

○**学生のための国際会議発表支援**　2件

・中国・北京で開催された国際会議（International Petroleum Technology Conference (IPTC)）およびポーランド・クラクフで開催された国際会議（International Conference on Coal Science & Technology (ICCS&T2019)）に参加した学生に支給した。

○**IEA/JECC(燃焼改善と排出物低減研究日本委員会)（受託調査）**

・JECC-第18期第4回定例会議（4/18）
施設見学会（北見工業大学・メタンハイドレート研究施設、エンジンシステム研究室、北見市・クリーンライフセンター、上下水道局　浄化センター、市立中央図書館）
収支報告：第18 期2年目収支決算（見込)、第19 期1年目予算案

・JECC-第19期第1回定例会議（11/28）
11月TLM会議報告
収支報告：第18期2年目収支実績、第19期1年目収支実績見通し

１－２　刊行

○**日本エネルギー学会誌**「Journal of the Japan Institute of Energy」（電子版、毎月）

査読付き投稿論文　J-STAGEに掲載

○**日本エネルギー学会機関誌「えねるみくす」**　6冊発行（冊子、隔月）

特集記事／トピックス　第98巻　第1号～第6号（第5号はアニュアルレビュー号)

１－３　部会関連

(1)　石炭科学部会

・**第 56 回石炭科学会議**（主催：石炭科学部会，コークス工学研究部会，重質油部会）
（共催：日本学術振興会 石炭・炭素資源利用技術第 148 委員会，化学工学会エネルギー部会）
(10/29～30，テクニカルツアー10/31：ウインクあいち(研究発表：46 件))
(参加者：122 名)

【特別講演】
「反応科学電子顕微鏡によるナノ材料の観察－ガス雰囲気中で試料観察できる透過電子顕微鏡－」
田中 信夫（名古屋大学）

【招待講演】
1.「炉内伝熱の高度制御に向けたダスト粒子群の輻射物性計測」
板谷 義紀（岐阜大学）
2.「三重県の CNF への取組」
西村 正彦（三重県工業研究所）
3.「バイオマスからのジェット燃料製造技術の開発」
篠田 克彦（三菱日立パワーシステムズ（株））

【テクニカルツアー】(参加者：23 名)
見学先： 1. 中部電力（株）碧南火力発電所
2. 日本製鉄（株）名古屋製鉄所

・第 56 回石炭科学会議特別企画～セミナー「石炭の研究・技術開発にとりくんで―わたしの自慢―」(10/28：名古屋大学　東山キャンパス　豊田講堂)（参加者：54 名）

【講演】
1.「石炭液化プロジェクトからハイパーコールプロジェクトまで　－国プロ推進の一翼を担えたのか？－」
斎藤 郁夫（産業技術総合研究所）
2 .「C1 化学と水」
藤本 薫（(株)HiBD 研究所、東京大学名誉教授）
3.「石炭利用技術開発とその事業化　－技術的成功、そして経済的失敗－」
橋本 升、鶴井 雅夫（元　日揮(株)）
4.「石炭利用技術開発と固気反応装置工学の展開」
堀尾 正靱（東京農工大学名誉教授）

・第 56 回石炭科学会議　第 2 回実行委員会（4/15：ウインクあいち）
・第 56 回石炭科学会議　第 3 回実行委員会（7/25：学会事務局）
・第 56 回石炭科学会議　第 4 回実行委員会（10/29：ウインクあいち）

(2) コークス工学研究部会

・**第 56 回石炭科学会議**：石炭科学部会と共催（10/29～31）（石炭科学部会欄参照）
・第 56 回石炭科学会議特別企画～セミナー「石炭の研究・技術開発にとりくんで―わたしの自慢―」(10/28)（石炭科学部会欄参照）
・第 56 回石炭科学会議　実行委員会(石炭科学部会欄参照)

(3) 重質油部会

・**第 56 回石炭科学会議**：石炭科学部会と共催（10/29～31）（石炭科学部会欄参照）
・第 56 回石炭科学会議　実行委員会(石炭科学部会欄参照)
・PetroPhase2019 国際会議の協賛(6/2-6：石川音楽堂)
・PetroPhase2019 実行委員会(1/8，2/15，4/2，4/24，5/17，8/23)
・えねるみくす特集号記事「アスファルテン凝集の解析に関する新技術」(11/20)

(4) 天然ガス部会

［資源分科会］

・利用分科会との統合検討

・シンポジウム：2020年実施に向けた検討

天然ガス部会幹事に、資源分科会に期待するシンポジウムテーマ(案)や勉強会等にするアンケートを予定(2020年1-2月実施予定)

［輸送・貯蔵分科会］

・シンポジウム～進化する天然ガス／ LNG サプライチェーンにおける輸送・貯蔵分野の最新動向～（9/27：全国家電会館）（参加者：86名）

【講演】

1.「LNGサプライチェーンの海上への展開（FloatingLNGinfrastructure）」

岡 勝（三菱造船（株））

2.「石油・ガス田の開発におけるFLNG・FPSOの現状と今後の見通し」

林 健太郎（三井海洋開発（株））

3.「LNG取引の流動化とLNG輸送・トレーディング事業」

山田 豊（東京ガス（株））

4.「新規 LNG 輸入国や小規模需要地の天然ガス導入・拡大にむけた FSRU の現状と今後の見通し」

新田 恭哉（(株) 商船三井）

・勉強会および施設見学会（10/30：東京ガス（株）根岸LNG基地）（参加者：8名）

【解説】

1. 基地全般について（ガスができるまでの流れ）
2. 基地設備について（ＬＮＧ受入・貯蔵・都市ガス製造・冷熱発電）
3. 都市ガスの原料について（ＬＮＧ・天然ガス・エネルギー全般）
4. 基地の安全・保安・防災対策について
5. 基地の環境対策について

【見学】LNG冷熱利用の2社（東京炭酸（株）、日本超低温（株））、基地内の設備、ＬＮＧタンカー、コントロールルーム、ＬＮＧの環境性と冷熱に関するデモ実験等

［利用分科会］

・見学会（12/18：パナソニック（株）草津工場）（参加者：9名）

【解説】

1. パナソニック株式会社、アプライアンス社および草津工場の沿革、事業内容
2. 家庭用燃料電池の開発の歴史について

・資源分科会との統合検討

［科学反応・システム分科会］

・新エネルギー・水素部会と合同でのシンポジウムを計画(2020 年 1 月 15 日開催)

［CBM(コールベッドメタン)・SG(シェールガス)研究会］

・研究会企画運営に関するアンケート調査（対象：研究会会員）

［GH(ガスハイドレート)研究会］

・第 54 回 GH 研究会（5/27：産業技術総合研究所　臨海副都心センター）（参加者：37 名）

【研究紹介 1】「New technologies for gas storage to liquids」

Ji-Ho Yoon（Korea Maritime and Ocean）

【研究紹介 2】「冷熱による発電システムの高効率化および冷熱のカスケード利用」

渡邉 健次（エネルギー総合研究所）

【情報提供】えねるみくす　GH 特集号の紹介、学会案内

・第 55 回 GH 研究会（8/6：神戸大学）（参加者：36 名）

【研究紹介 1】「メタンハイドレートに包まれた冥王星の内部海」

谷 篤史（神戸大学）

【研究紹介 2】「分子動力学シミュレーションによるクラスレートハイドレートの生成・分解と阻害剤の研究」

矢ヶ崎 琢磨（岡山大学）

【施設見学】谷研究室

【情報提供】イベント情報、電子書籍　他

［その他、部会共通］

・合同幹事会　2回（7/2：東京ガス(株)本社、12/12：東京ガス(株)本社）

(5)バイオマス部会

・第 14 回バイオマス科学会議（主催：バイオマス部会，共催：広島大学）

（1/16～17，テクニカルツアー1/18：東広島芸術文化ホールくらら（研究発表：76 件））

（参加者：174 名）

【特別シンポジウム】”EU-Japan Small-scale biomass gasification seminar” co-organized with EUBCE2019

Session 1: research and technology context

Chairmen: Yukihiko Matsumura - Japan Institute of Energy, Maurizio Cocchi - ETA Florence

Technology overview: main small-scale gasification technologies, point of strength and critical issues

Marco Baratieri - Free University of Bozen-Bolzano

Present situation and problems of small biomass gasification plants in Japan

Kenichi Sasauchi - Chugai Ro Co.Ltd

Fuel and load flexibility in small-scale gasification: experiences in EU and challenges

Markus Gölles - Bioenergy 2020+ GmbH

Valorization of co-products of small-scale gasification plants (biochar and bio-oil) and importance for overall profitability of the plant

Francesco Patuzzi - Free University of Bozen-Bolzano

Sustainable biomass procurement for the Japanese Energy sector

Takanobu Aikawa - Renewable Energy Institute

Methodologies for plant monitoring, energy and environmental performance assessment

Stefan Martini - Bioenergy 2020+ GmbH

Session 2: Case studies and industry perspectives

Chairmen: Marco Baratieri (Free University of Bozen-Bolzano); Takanobu Aikawa (Renewable Energy Institute)

Case study of South Tyrol (Italy) - results of environmental and performance monitoring of gasification plants

Free University of Bozen-Bolzano

Experiences and technology challenges with 50 and 250 kWe wood biomass gasifiers installed in Japan - plant efficiency, adaptation to local feedstock and use of biochar

Prospects of Modern Wood Gas Cogeneration Renewable Energy Supply in Japan – Case Study of ICU

【テクニカルツアー】（参加者：36 名）

見学先：1. 国立研究開発法人産業技術総合研究所　中国センター　なのセルロース工房など

2. 賀茂バイオマスセンター　バイオマス収集，ペレット化など

3. 酔心山根本店醸造所　酒造見学

・第14回バイオマス科学会議　第3回実行委員会（1/15：東広島芸術文化ホールくらら）
・第14回バイオマス科学会議　第4回実行委員会（1/17：東広島芸術文化ホールくらら）
・**第 15 回バイオマス科学会議**（主催：バイオマス部会，後援： 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会，郡山市，福島大学，国立環境研究所）
（12/11～12，テクニカルツアー12/13：郡山市中央公民館（研究発表：60 件））
（参加者：180 名）

【基調講演／パネル討論会】　RE100 を目指したバイオマスの貢献

基調講演：相川 高信（自然エネルギー財団）

パネル討論：

パネラー：相川 高信（自然エネルギー財団）、長野 麻子（林野庁）、佐藤 理夫（福島大学）、鈴木 精一（福島発電(株)）

モデレータ：中田 俊彦（日本エネルギー学会バイオマス部会長、東北大学）

【テクニカルツアー】（参加者：22 名）

見学先： 1. スパホテルあぶくまのバイオマス CHP（熱電併給）
2. 福島環境創造センター

・**第7回アジアバイオマス科学会議**（主催：バイオマス部会，共催：アジアバイオマス協議会，後援：福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会，郡山市，福島大学，国立環境研究所）
（12/10：郡山市中央公民館（研究発表：36 件、基調講演 1 件））（参加者：61 名）

【基調講演】

「Development of Biomass and Outlook of Thailand as an Asian Member」

Dr. Paritud Bhandhubanyong（Panyapiwat Institute of Management）

・第15回バイオマス科学会議、第7回アジアバイオマス科学会議　第1回実行委員会（5/9：郡山市中央公民館）
・第15回バイオマス科学会議、第7回アジアバイオマス科学会議　第2回実行委員会（9/30：学会事務局）
・第15回バイオマス科学会議、第7回アジアバイオマス科学会議　第3回実行委員会（12/9：郡山市中央公民館）
・第15回バイオマス科学会議、第7回アジアバイオマス科学会議　第4回実行委員会（12/12：郡山市中央公民館）
・2019年度「バイオマス夏の学校」（主催：バイオマス部会，共催：NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク，愛媛大学）（9/3～9/4）（参加者：25名）

【見学先】

1. 大王製紙株式会社　三島工場
2. 住友重機械工業株式会社　新居浜研究所
3. 松山バイオマス発電所
4. 内子バイオマス発電所（オプショナルツアー）

初日の夜は講演会を開催。

・バイオマス部会　座談会（4/18：全国家電会館）機関誌えねるみくす7月号掲載

「バイオマス流通システムの未来を描く」

【パネリスト(五十音順)】

相川 高信（自然エネルギー財団）、長野 麻子（林野庁）、中野 光（遠野興産株式会社）、古林 敬顕（秋田大学）

【ディスカッション】　モデレータ　細貝 聡（産業技術総合研究所）

・［リサイクル・バイオマス・ガス化］三部会（RGB）シンポジウム ～プラスチックリサイクル技術の最新動向～（7/17：東工大蔵前会館）（ガス化部会欄参照）
・ホームページ：学会員用ホームページを拡充。
・幹事会　1回(8/8：関西大学千里山キャンパス)
・総会(8/8：関西大学千里山キャンパス)

(6)新エネルギー・水素部会

・第1回水素エネルギー技術講習会（10/15：TKP 三宮ビジネスセンター）（参加者：27名）

1.「水素社会実現の意義」
（産業技術総合研究所　古谷 博秀）

2.「再生可能エネルギーからの水素製造とコスト」
（広島大学　市川 貴之）

3.「水素ステーションに関わる法規と技術」
（大陽日酸(株)　高野 直幸）

4.「固体高分子電解質膜を利用した水電解式水素発生装置とその適用事例・動向」
（神鋼ソリューション(株)　須田 龍生）

5.「ホンダ クラリティ フューエルセル」の紹介と水素社会実現の取組みについて」
（(株)本田技術研究所　清水 潔）

・【協賛行事】触媒学会　水素の製造と利用に関するシンポジウム
「エネルギーキャリアとしてのメタノールの利用」

1.「水素の社会実装に向けた課題とメタノール水キャリア適用への期待」
（筑波大学　石田 政義）

2.「メタノール製造の現状と展望」
（三菱ガス化学(株)　吉原 純）

3.「二酸化炭素を原料とするメタノール合成触媒の開発」
（産業技術総合研究所　藤谷 忠博）

4.「固体酸化物形燃料電池(SOFC)での燃料多様化」
（産業技術総合研究所　岸本 治夫）

・幹事会　2回（6/18：全国家電会館，8/7：関西大学千里山キャンパス）
・企画会議　1回（5/16：広島大学）

(7)ガス化部会

・［リサイクル・バイオマス・ガス化］三部会（RGB）シンポジウム ～プラスチックリサイクル技術の最新動向～（7/17：東工大蔵前会館）（参加者:87名）

【講演】

1.「海洋マイクロプラスチック問題とプラスチック循環経済」
府川 伊三郎（(株) 旭リサーチセンター）

2.「プラスチック類の資源循環利用の現状」
冨田 斉（プラスチック循環利用協会）

3.「難リサイクル性プラスチックのリサイクルに向けた研究開発」
熊谷 将吾（東北大学）

4.「バイオマス由来多糖誘導体の合成と高性能バイオプラスチック材料化」
榎本 有希子（東京大学）

5.「石油系樹脂を使わないバイオマス三次元成形の取組～ウッドストローを例として～」
野中 寛（三重大学）

(8) 燃焼部会

・「燃焼に関する講習会」～エネルギー管理士（熱分野）への第一歩～
（12/13：日本大学理工学部駿河台キャンパス）（受講者：14 名）

【講習会】

1.「熱力学の基礎」 飯島 晃良（日本大学）
2.「流体工学の基礎」 飯島 晃良（日本大学）
3.「伝熱工学の基礎」 奥村 幸彦（香川大学）
4.「燃料と燃焼」 奥村 幸彦（香川大学）
5.「計測と自動制御・熱利用設備」 神原 信志（岐阜大学）

・見学会（10/1：群馬大学工学部）
・幹事会　2 回（8/7：関西大学千里山キャンパス，10/1：群馬大学工学部）

(9) 液体微粒化部会

・第 15 回微粒化セミナー（日本液体微粒化学会と共同主催）
（11/15：東京都立産業技術研究センター　東京イノベーションハブ（参加者：24 名）

1.【解説】「液体微粒化の基礎」 斉藤 寛泰（芝浦工業大学）
2.【解説・実演】「噴霧ノズルの説明と噴霧実演」　太田 厚（(株)いけうち）
3.【解説】「微粒化の測定法と評価法」松村 恵理子（同志社大学）
4.【計測原理の説明と実演】「干渉画像法（ILIDS），位相ドップラ法（PDI），レーザ回折法（LDSA）」
（日本カノマックス（株），西華デジタルイメージ（株），マイクロトラック・ベル（株）），（株）フォトロン
5.【トピックス】東京都立産業技術研究センター　都の産業支援に関する講演及び施設見学
（塗装評価施設，塩水噴霧施設，耐候施設など）

・ILASS-Asia 2019（第 20 回微粒化アジア会議）
（日本液体微粒化学会（ILASS-Japan）と共同主催）
（12/21：山口大学　常盤キャンパス（研究発表：73 件、基調講演:4 件、特別講演：1 件）
（参加者：162 名）

【特別講演】

「Giant Drops and Sprays in Low-Gravity Environments」
Mark Weislogel (Portland State University)

【基調講演】

「Vortex Induced String Cavitation in Diesel Injector Nozzles and Its Effects on Spray Atomization」
Zhixia He (Jiangsu University)
「Droplet-Cloud-Combustion Experiments “Group Combustion” aboard Kibo on the ISS」
Masato Mikami (Yamaguchi University)
「Reference Sprays for Aligning the Spray Community」
Vincent McDonell (University of California, Irvine)
「Regulation and spray of High-test Peroxide: Challenge and Development」
Chih-Yung Wu (National Cheng Kung University)

・第 28 回微粒化シンポジウム（28th Symposium（ILASS-Japan）on Atomization）
（日本液体微粒化学会（ILASS-Japan）と共同主催）
（12/22～23：山口大学　常盤キャンパス（研究発表：37 件、招待講演：1 件））
（参加者：113 名）

【招待講演】

「Nozzle Tip Wetting of Multi-Hole GDI Injectors and Its Control Strategies」

Seoksu Moon (Inha University)

・幹事会 3 回(4/17：全国家電会館，6/19：東京都立産業技術研究センター，
8/8：トヨタ産業技術記念館)

(10) 省エネルギー・消費者行動部会

・春の勉強会「気象を利用した需要予測コンサルティングによる省エネルギー社会の実現」(4/19：全国家電会館)（参加者 24 名）

【内容】

1. 話題提供　「電力系との運用計画と気象予測データ」坂東　茂（電力中央研究所）
2. 講演「気象を利用した需要予測コンサルティングによる省エネルギー社会の実現」

松本 健人（日本気象協会）

3. 意見交換

・秋の勉強会「温泉・入浴の科学：気持ちよさを追求する ～温泉熱や排熱利用で省エネ・エコライフを！」(11/6：全国家電会館)（参加者 20 名）

【内容】

1. 話題提供「毎日を元気に過ごすための入浴法」 津田 圭子（東京ガス（株））
2. 講演 1「再エネ由来電力を浴場・給湯でエコ＋安全に使う！」　赤井 仁志（福島大学）
3. 講演 2「米屋企業株式会社　～温泉排湯熱利用高効率ヒートポンプ導入による省エネルギー事業の紹介～」

白石 昇央（(株) エナジア）

4. 意見交換

・幹事会　6 回 (2/26：電力中央研究所，4/19：全国家電会館，7/12：電力中央研究所，10/10：東京電力ホールディングス(株)，11/6：全国家電会館，12/4：電力中央研究所)

(11) リサイクル部会

・[リサイクル・バイオマス・ガス化] 三部会 (RGB) シンポジウム ～プラスチックリサイクル技術の最新動向～ (7/17：東工大蔵前会館)（ガス化部会欄参照）

(12)「エネルギー学」部会

・政策分科会　シンポジウム　「AI/ICT/IoT 関連技術のエネルギー分野への応用」(3/1:産業技術総合研究所　臨海副都心センター)（参加者：40 名）

【内容】

1.「複雑系数理モデル学のエネルギー分野への応用を目指して」

合原 一幸（東京大学）

2.「再生可能エネルギー利用への機械学習技術の適用」

中村 良介（産業技術総合研究所）

3.「ブロックチェーン技術：その本質と応用」

佐古 和恵（日本電気(株)）

4.「IoT と AI を活用するために必要なこと～電力分野での活用事例～」

堤 富士雄（電力中央研究所）

・「エネルギー学」部会・OR 学会「エネルギーミックスの諸問題と OR」研究部会ジョイント研究会 (7/12：(株) 構造計画研究所)（参加者 30 名）

【内容】

講演 1「経済性・信頼性・環境性に優れた電力供給を支える情報数理技術」　所 健一（電力中央研究所）

講演 2「ノンパラメトリック回帰を用いた卸電力市場ヘッジモデル」　山田 雄二（筑波大学）

・学融合分科会見学会（9/19～20）（参加者 18 名）

【見学先】

1. 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所、廃炉資料館
2. 東京電力ホールディングス(株)福島第二原子力発電所

・部会総会（8/8：関西大学千里山キャンパス）

・運営委員会　5 回（2/20：電力中央研究所，4/1：電力中央研究所，5/31：電力中央研究所，8/8：関西大学千里山キャンパス，11/27：電力中央研究所）。

第 3 回(話題提供　電力中央研究所　上席研究員　吉葉史彦氏)および第 3 回運営委員会（日本エネルギー経済研究所理事　工藤拓毅氏)において、第 5 次エネルギー基本計画：2050 への提言”に関する意見交換会を実施。

・エネルギー資源学会と共同で「エネルギー検定」の改訂作業について相談中。

(13) エネルギー転換・利用に関わる若手研究者の勉強会

・第17回勉強会(8/9：関西大学千里山キャンパス）（参加者：約20名）

（【第28回日本エネルギー学会大会】との合同講演会）

「持続可能な製鉄業を目指して～日本鉄鋼協会エコメタラージーフォーラムの取り組み～」

丸岡伸洋（東北大学）

１－４　支部関連

(1) 北海道支部

・第 19 回北海道エネルギー資源環境研究発表会（1/22：北海道大学工学部）（参加者：19 名）

【特別講演】

1.「北海道における二酸化炭素排出量大幅削減のための将来エネルギーシステム解析」

田部 豊、近久 武美（北海道大学）

2.「北ガス石狩発電所の概要とその導入意義」

沖田 雅夫（北海道ガス（株））

・2019 年度施設見学会およびエネルギーセミナー（7/29～30：稚内市総合福祉センター）

（参加者：34 名）

【特別講演】

1.「洋上風力の現状と今後の動向」

今村 博（(株) 風力エネルギー研究所）

2.「リチウムイオン電池を用いた定置用蓄電池システム―再生可能エネルギーの導入拡大に向けて―」

小林 武則（東芝エネルギーシステムズ（株））

【見学先】

稚内メガソーラー発電所、宗谷岬ウインドファーム

・総会　1 回（1/22：北海道大学工学部）

・幹事会　2 回（1/22：北海道大学工学部、7/9：メール審議）

・庶務幹事会　7 回（1/22：北海道大学工学部、3/25：北海道大学工学部、4/16：北海道大学工学部、7/8：北海道大学工学部、7/29：施設見学会へのバス移動時、10/11：北海道大学工学部、12/2：北海道大学工学部）

・共催・協賛行事

第 9 回エネルギー・マテリアル融合領域シンポジウム（6/19：北海道大学工学部、共催）

日本化学会北海道支部 2019 年夏季研究発表会（7/20：苫小牧工業高等専門学校、共催）

(2) 東北支部

・令和元年度講演会・見学会（10/31～11/1：東北大学青葉山キャンパス）（参加者：121 名）

【講演，見学】

1.「微粉炭燃焼のモデリングと実用シミュレーションへの応用」　松下 洋介（東北大学大学院）

2.「再生可能エネルギー大量導入時代の火力発電の役割」　吉葉 史彦（電力中央研究所）

3.「非常用電源機能を有する再生可能エネルギー出力変動補償用電力・水素複合エネルギー貯蔵システム」　津田 理（東北大学大学院）

4.「エネルギーシステム革命の行方」　山地 憲治（地球環境産業技術研究機構）

【見学先】

東北電力（株）西仙台変電所大規模蓄電池システム，

三居沢発電所・電気百年館，ニッカウヰスキー（株）宮城峡蒸溜所

・2019 年度第 1 回役員会（6/13：東北電力(株)）

・2019 年度第 2 回役員会（12/17：東北電力(株)）

・共催・協賛行事

第 11 回製鉄・資源に関する Work shop（還元研究会）（1/24-25：宮城・中山平温泉，共催）

東北再生可能エネルギー研究会　平成 30 年度講演会（2/1：宮城・小田急仙台ビル，後援）

平成 30 年度技術講演会および見学会（2/7-8：宮城・ホテル法華クラブ仙台，協賛）

第 48 回ケミカルエンジニアリング交流会（5/17：秋田・秋田ビューホテル，協賛）

学都 仙台・宮城サイエンスデイ（7/14：仙台市，名義後援）

第 24 回東北ジョイント夏季ｾﾐﾅｰ（9/12-13：山形・天童温泉ほほえみの宿 滝の湯，協賛）

再エネテクノブリッジ in 新潟（9/12：新潟・朱鷺メッセ，後援）

令和元年度技術講習会および見学会（9/12-13：新潟・新潟第一ホテル，協賛）

令和元年度研究発表会および見学会（11/7-8：青森・八戸プラザホテル，協賛）

(3) 関西支部

・見学会

(7/9：大阪ガス(株)泉北製造所)（参加者：10 名）

・コロキウム 2019

(8/26～27：(株) 神戸製鋼所保養所「淡路ゆうなぎ荘」(石油学会関西支部、石油学会 ジュニア・ソサイアティ共催)) （参加者：28 名）

【講演】

1.「可視光応答型光触媒を用いた水分解による水素生成と物質変換反応」　冨田 修（京都大学）

2.「メタノール合成系への適用を目指したイオン液体膜開発」　廣田 雄一朗（大阪大学）

【見学】

（株）神戸製鋼所　加古川製鉄所、(株) 神戸製鋼所　神戸総合技術研究所

・合同セミナー　第 35 回日本エネルギー学会関西支部セミナー　～水素エネルギーキャリアに関する最新技術と展望～

(10/18：大阪大学中之島センター(石油学会関西支部共催)) （参加者：51 名）

【講演】

1.「ギ酸脱水素化による高圧水素製造」 姫田 雄一郎（産業技術総合研究所）

2.「有機ハイドライドによるステーション向け水素供給技術」 壱岐 英（JXTG エネルギー(株)）

3.「国際水素サプライチェーン構築への取組」　新道 憲二郎（川崎重工業(株)）

4.「CO_2 フリー発電の実現に向けたアンモニアサプライチェーン」　藤村 靖（日揮(株)）

・合同研究発表会　日本エネルギー学会関西支部第 64 回研究発表会
（12/13：近畿大学東大阪キャンパス(石油学会関西支部共催)）（参加者：52 名）
1. 口頭発表：10 件
2. ポスター発表：21 件
【特別講演】
1.「海外再エネの大量輸入を目指した Direct MCH プロセスの開発」 佐藤 康司（JXTG エネルギー（株））
2.「酢酸発酵によるリグノセルロースからの先進エタノール生産」 坂 志朗（京都大学）
・幹事会　4 回（1/25：アーバネックス備後町ビル，4/16：アーバネックス備後町ビル，7/9：大阪ガス(株)泉北製造所内，10/18：大阪大学中之島センター）

(4) 西部支部

・第 4 回エネルギー技術講演会・見学会
（8/23：九州電力(株)・八丁原発電所，別府市ふれあい広場・サザンクロス）（参加者：21 名）
【内容】
1. 九州電力・八丁原発電所見学
2. 講演１「地熱発電システム（これまでの歩みと今後の展望)」
福田 憲弘（三菱日立パワーシステムズ(株)）
3. 講演２「地下資源を生み出す構造 -別府市の地下構造と地熱資源の関係を例に-」
西島 潤（九州大学）
・第 19 回九州低炭素システム研究会（10/9：西日本総合展示場）（参加者：79 名）
【講演】
1.「カーボンリサイクルについて」
竹廣 克（資源エネルギー庁）
2.「二酸化炭素地中貯留（ＣＣＳ）プロジェクトの概要と進捗状況」
棚瀬 大爾（日本 CCS 調査(株)）
3.「Drop-in バイオ燃料の商業化に向けて」
太田 晴久（(株)ユーグレナ）
4.「石炭ガス化プロセスにおける微量成分の分配挙動」
義家 亮（名古屋大学）
・第 4 回　学生・若手研究発表会（11/22：鹿児島大学・稲盛会館）（参加者：37 名）
1. 口頭発表：9 件
2. ポスター発表：12 件
・幹事会　2 回（8/29：TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター，11/22：鹿児島大学）
・共催・協賛行事
石油学会　九州・沖縄支部講演会（12/13：北九州学術研究都市産学連携センター）
【講演】
1. 層状金属酸化物固体酸触媒によるバイオマス変換反応
高垣 敦（九州大学）
2. 水素透過膜型電気化学セルを用いた電力による窒素と水からのアンモニア合成
久保田 純（福岡大学）
3. エネルギーの現状と九州電力の取組みについて
松尾 菊子（九州電力(株)）

１－５　受託調査関連

No.	テ　ー　マ　名	委託元	期　間	委員長
1	日本 IEA 燃焼研究－燃焼に関する省エネルギーと排出物低減	IEA 研究会維持会員	2019.6－2020.5	石間 経章

２．会員状況報告

		2018 年度末数	増（＋）	減（－）	2019 年度末数
維持会員	特級	3	0	0	3
	1 級	2	0	0	2
	2 級	3	0	0	3
	3 級	7	1	0	8
	4 級	19	0	1	18
	5 級	90	2	5	87
小計		124	3	6	121
名誉会員		16	1	0	17
正 会 員※		1,266	131	140	1,257
小計		1,282	132	140	1,274
賛助会員		100	4	8	96
会員数 合計		1,506	139	154	1,491

但し、年度末退会数を含む。

※（2016 年度末）　内 シニア会員　226（17%）、学生会員　119（9%）

※（2017 年度末）　内 シニア会員　231（18%）、学生会員　102（8%）

※（2018 年度末）　内 シニア会員　222（18%）、学生会員　139（11%）

※（2019 年度末）　内 シニア会員　224（18%）、学生会員　154（12%）

２０１９年度事業報告　附属明細書

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

第２号議案　２０１９年１月１日から２０１９年１２月３１日までの貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認の件

貸借対照表

2019年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

(単位：円)

科　　目	(A) 当年度	(B) 前年度	(A－B) 増　減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金	42,325,045	39,853,415	2,471,630
売掛金	1,110,710	533,598	577,112
未収金	1,447,947	5,879,122	△ 4,431,175
前払金	505,136	875,662	△ 370,526
棚卸資産	1,615,927	1,742,744	△ 126,817
立替金	△ 1,716	2,277	△ 3,993
流動資産合計	47,003,049	48,886,818	△ 1,883,769
2．固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引預金	200,000	200,000	0
基本財産合計	200,000	200,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引預金	3,274,200	2,854,400	419,800
会費補填引預金	9,500,000	9,500,000	0
特定資産合計	12,774,200	12,354,400	419,800
(3) その他固定資産			
電話加入権	30,550	30,550	0
借室保証金	3,488,000	3,488,000	0
その他固定資産合計	3,518,550	3,518,550	0
固定資産合計	16,492,750	16,072,950	419,800
資産合計	63,495,799	64,959,768	△ 1,463,969
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
未払金	427,070	2,064,498	△ 1,637,428
前受金	354,000	346,800	7,200
預り金	492,226	458,506	33,720
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	451,177	228,781	222,396
流動負債合計	1,794,473	3,168,585	△ 1,374,112
2．固定負債			
退職給付引当金	3,274,200	2,854,400	419,800
固定負債合計	3,274,200	2,854,400	419,800
負債合計	5,068,673	6,022,985	△ 954,312
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2．一般正味財産	58,427,126	58,936,783	△ 509,657
（うち基本財産への充当額）	(200,000)	(200,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(12,774,200)	(12,354,400)	(419,800)
正味財産合計	58,427,126	58,936,783	△ 509,657
負債及び正味財産合計	63,495,799	64,959,768	△ 1,463,969

貸借対照表内訳表

2019年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

（単位：円）

科　　目	実施事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
Ⅰ　資産の部				
1．流動資産				
現金預金	△ 153, 251, 355	64, 349, 699	131, 226, 701	42, 325, 045
売掛金	338, 952	771, 758	0	1, 110, 710
未収金	0	407, 747	1, 040, 200	1, 447, 947
前払金	121, 456	0	383, 680	505, 136
棚卸資産	609, 000	1, 006, 927	0	1, 615, 927
立替金	0	0	△ 1, 716	△ 1, 716
流動資産合計	△ 152, 181, 947	66, 536, 131	132, 648, 865	47, 003, 049
2．固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引預金	0	0	200, 000	200, 000
基本財産合計	0	0	200, 000	200, 000
(2) 特定資産				
退職給付引預金	0	0	3, 274, 200	3, 274, 200
会費補填引預金	0	0	9, 500, 000	9, 500, 000
特定資産合計	0	0	12, 774, 200	12, 774, 200
(3) その他固定資産				
電話加入権	0	0	30, 550	30, 550
借室保証金	0	0	3, 488, 000	3, 488, 000
その他固定資産合計	0	0	3, 518, 550	3, 518, 550
固定資産合計	0	0	16, 492, 750	16, 492, 750
資産合計	△ 152, 181, 947	66, 536, 131	149, 141, 615	63, 495, 799
Ⅱ　負債の部				
1．流動負債				
未払金	0	427, 070	0	427, 070
前受金	0	354, 000	0	354, 000
預り金	0	80, 958	411, 268	492, 226
未払法人税等	0	0	70, 000	70, 000
未払消費税等	0	0	451, 177	451, 177
流動負債合計	0	862, 028	932, 445	1, 794, 473
2．固定負債				
退職給付引当金	0	0	3, 274, 200	3, 274, 200
固定負債合計	0	0	3, 274, 200	3, 274, 200
負債合計	0	862, 028	4, 206, 645	5, 068, 673
Ⅲ　正味財産の部				
1．指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	0
2．一般正味財産	△ 152, 181, 947	65, 674, 103	144, 934, 970	58, 427, 126
（うち基本財産への充当額）	0	0	200, 000	200, 000
（うち特定資産への充当額）	0	0	12, 774, 200	12, 774, 200
正味財産合計	△ 152, 181, 947	65, 674, 103	144, 934, 970	58, 427, 126
負債及び正味財産合計	△ 152, 181, 947	66, 536, 131	149, 141, 615	63, 495, 799

附　属　明　細　書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記において記載をしている。

2. 引当金の明細

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,854,400	419,800	0	0	3,274,200

正味財産増減計算書

2019年 1月 1日から2019年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(単位：円)

科　　目	(A) 当年度	(B) 前年度	(A－B) 増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[34,646,100]	[33,788,300]	[857,800]
維持会員受取会費	23,150,000	23,300,000	△ 150,000
賛助会員受取会費	2,088,000	2,040,000	48,000
正会員受取会費	9,408,100	8,448,300	959,800
参加会費	[48,000]	[90,000]	[△ 42,000]
新春祝賀会参加会費	48,000	90,000	△ 42,000
事業収益	[25,411,126]	[29,702,839]	[△ 4,291,713]
講演講習会収益	16,912,547	15,068,922	1,843,625
分析収益	215,273	73,980	141,293
安息香酸収益	2,961,504	3,473,280	△ 511,776
調査研究収益	1,209,044	6,631,971	△ 5,422,927
会誌別刷売上	322,785	422,744	△ 99,959
広告収益	435,600	329,572	106,028
書籍収益	449,766	460,416	△ 10,650
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,504,607	1,841,954	△ 337,347
総会賛助金	[750,000]	[675,000]	[75,000]
総会賛助金	750,000	675,000	75,000
受取寄付金	[870,000]	[870,000]	[0]
受取寄付金	870,000	870,000	0
雑収益	[519,566]	[163,072]	[356,494]
受取利息	2,921	2,245	676
雑収益	516,645	160,827	355,818
経常収益計	62,244,792	65,289,211	△ 3,044,419
(2) 経常費用			
事業費	[45,454,116]	[47,458,022]	[△ 2,003,906]
給料手当	9,759,080	9,876,610	△ 117,530
講演講習会運営費	8,564,871	6,245,838	2,319,033
旅費交通費	3,027,940	2,855,078	172,862
通信運搬費	1,315,310	1,311,019	4,291
調査研究費	350,660	3,243,897	△ 2,893,237
消耗品費	8,042	61,406	△ 53,364
印刷製本費	10,742,056	10,342,296	399,760
支部費	1,400,000	1,400,000	0
広告宣伝費	20,417	161,217	△ 140,800
借室費	3,178,963	3,164,313	14,650
会議費	399,425	416,267	△ 16,842
諸謝金	1,851,969	2,276,871	△ 424,902
会議・講習会参加費	0	104,716	△ 104,716
分析費	161,452	55,485	105,967
支払寄付金	185,392	0	185,392
安息香酸費	2,368,988	2,778,616	△ 409,628
雑費	1,954,153	3,000,809	△ 1,046,656
出入金手数料	165,398	163,584	1,814
管理費	[17,195,987]	[16,797,750]	[398,237]
給料手当	4,182,463	4,232,833	△ 50,370
社会保険料	1,522,773	1,478,736	44,037

科　　目	(A) 当年度	(B) 前年度	(A－B) 増　減
退職給付費用	419,800	405,800	14,000
労働保険料	310,453	181,813	128,640
福利厚生費	55,916	141,562	△ 85,646
会議費	2,391,000	1,960,792	430,208
旅費交通費	1,139,568	1,230,587	△ 91,019
通信運搬費	1,416,617	1,204,390	212,227
消耗品費	159,928	169,188	△ 9,260
印刷製本費	1,211,443	720,421	491,022
光熱水料費	304,963	315,086	△ 10,123
借室費	1,362,413	1,356,135	6,278
保険料	7,200	7,200	0
諸謝金	89,096	113,597	△ 24,501
租税公課	576,456	1,053,686	△ 477,230
雑費	2,045,898	2,225,924	△ 180,026
出入金手数料	[102,626]	[102,490]	[136]
雑損出	[0]	[27,000]	[△ 27,000]
経常費用計	62,752,729	64,385,262	△ 1,632,533
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 507,937	903,949	△ 1,411,886
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 507,937	903,949	△ 1,411,886
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	[26,000]	[0]	[26,000]
経常外収益計	26,000	0	26,000
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	[27,720]	[0]	[27,720]
経常外費用計	27,720	0	27,720
当期経常外増減額	△ 1,720	0	△ 1,720
当期一般正味財産増減額	△ 509,657	903,949	△ 1,413,606
一般正味財産期首残高	58,936,783	58,032,834	903,949
一般正味財産期末残高	58,427,126	58,936,783	△ 509,657
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	58,427,126	58,936,783	△ 509,657

正味財産増減計算書内訳表

2019年 1月 1日から2019年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(単位：円)

科目	実施事業会計		その他事業会計				法人会計	合計
	会誌発行	表彰事業	講演講習会	依頼分析	調査研究	寄稿	法人会計	
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取会費	0	0	8,661,525	259,846	0	1,299,229	24,425,500	34,646,100
維持会員受取会費	0	0	8,661,525	259,846	0	1,299,229	12,929,400	23,150,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	2,088,000	2,088,000
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	9,408,100	9,408,100
参加会費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
新春祝賀会参加会費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
事業収益	1,971,392	0	18,799,347	3,176,777	1,209,044	254,566	0	25,411,126
講演講習会収益	0	0	16,912,547	0	0	0	0	16,912,547
分析収益	0	0	0	215,273	0	0	0	215,273
安息香酸収益	0	0	0	2,961,504	0	0	0	2,961,504
調査研究収益	0	0	0	0	1,209,044	0	0	1,209,044
会誌別刷売上	322,785	0	0	0	0	0	0	322,785
広告収益	144,000	0	291,600	0	0	0	0	435,600
寄稿収益	0	0	195,200	0	0	254,566	0	449,766
支部収益	0	0	1,400,000	0	0	0	0	1,400,000
会誌掲載料	1,504,607	0	0	0	0	0	0	1,504,607
総会賛助金	0	0	0	0	0	0	750,000	750,000
総会賛助金	0	0	0	0	0	0	750,000	750,000
受取寄付金	0	870,000	0	0	0	0	0	870,000
受取寄付金	0	870,000	0	0	0	0	0	870,000
雑収益	9,846	8	55,534	32,883	0	18,415	402,880	519,566
受取利息	0	8	34	0	0	0	2,879	2,921
雑収益	9,846	0	55,500	32,883	0	18,415	400,001	516,645
経常収益計	1,981,238	870,008	27,516,406	3,469,506	1,209,044	1,572,210	25,626,380	62,244,792
(2) 経常費用								
事業費	14,279,828	1,707,292	21,235,502	3,466,194	3,778,422	986,878	0	45,454,116
給料手当	1,394,154	697,077	4,182,463	697,077	2,091,232	697,077	0	9,759,080
講演講習会運営費	0	0	8,564,871	0	0	0	0	8,564,871
旅費交通費	339,718	204,288	2,439,174	0	44,760	0	0	3,027,940
通信運搬費	1,204,589	20,196	90,525	0	0	0	0	1,315,310
調査研究費	0	0	0	0	350,660	0	0	350,660
消耗品費	0	0	8,042	0	0	0	0	8,042
印刷製本費	9,271,068	0	1,408,580	0	0	62,408	0	10,742,056
支部費	0	0	1,400,000	0	0	0	0	1,400,000
広告宣伝費	0	0	20,417	0	0	0	0	20,417
借室費	454,137	227,069	1,362,413	227,069	681,206	227,069	0	3,178,963
会議費	59,270	11,340	328,815	0	0	0	0	399,425
諸謝金	980,548	0	871,421	0	0	0	0	1,851,969
分析費	0	0	0	161,452	0	0	0	161,452
支払寄付金	0	185,392	0	0	0	0	0	185,392
安息香酸費	0	0	0	2,368,988	0	0	0	2,368,988
雑費	513,798	356,712	482,333	0	601,310	0	0	1,954,153
出入金手数料	62,546	5,216	76,448	11,608	9,254	324	0	165,398
管理費	0	0	0	0	0	0	17,195,987	17,195,987
給料手当	0	0	0	0	0	0	4,182,463	4,182,463
社会保険料	0	0	0	0	0	0	1,522,773	1,522,773
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	419,800	419,800
労働保険料	0	0	0	0	0	0	310,453	310,453
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	55,916	55,916
会議費	0	0	0	0	0	0	2,391,000	2,391,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	1,139,568	1,139,568
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	1,416,617	1,416,617
消耗品費	0	0	0	0	0	0	159,928	159,928
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	1,211,443	1,211,443
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	304,963	304,963
借室費	0	0	0	0	0	0	1,362,413	1,362,413
保険料	0	0	0	0	0	0	7,200	7,200
諸謝金	0	0	0	0	0	0	89,096	89,096
租税公課	0	0	0	0	0	0	576,456	576,456
雑費	0	0	0	0	0	0	2,045,898	2,045,898
出入金手数料	0	0	0	0	0	0	102,626	102,626
経常費用計	14,279,828	1,707,292	21,235,502	3,466,194	3,778,422	986,878	17,298,613	62,752,729
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,298,590	△ 837,284	6,280,904	3,312	△ 2,569,378	585,332	8,327,767	△ 507,937
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 12,298,590	△ 837,284	6,280,904	3,312	△ 2,569,378	585,332	8,327,767	△ 507,937
2．経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
過年度損益修正益	0	0	26,000	0	0	0	0	26,000
経常外収益計	0	0	26,000	0	0	0	0	26,000
(2) 経常外費用								
過年度損益修正損	27,720	0	0	0	0	0	0	27,720
経常外費用計	27,720	0	0	0	0	0	0	27,720
当期経常外増減額	△ 27,720	0	26,000	0	0	0	0	△ 1,720
当期一般正味財産増減額	△ 12,326,310	△ 837,284	6,306,904	3,312	△ 2,569,378	585,332	8,327,767	△ 509,657
一般正味財産期首残高	△ 128,076,743	△ 10,941,610	49,789,863	3,217,727	△ 3,770,038	12,110,381	136,607,203	58,936,783
一般正味財産期末残高	△ 140,403,053	△ 11,778,894	56,096,767	3,221,039	△ 6,339,416	12,695,713	144,934,970	58,427,126
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 140,403,053	△ 11,778,894	56,096,767	3,221,039	△ 6,339,416	12,695,713	144,934,970	58,427,126

財産目録

2019年12月31日現在

一般社団法人日本エネルギー学会

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	1,263,698
	預金	普通預金		18,313,455
		三菱UFJ銀行		1,403,334
		三井住友銀行		13,371,590
		三菱UFJ銀行		1,986,738
		三菱UFJ銀行		146,802
		三菱UFJ銀行		1,404,991
		振替預金		4,042,924
		支部現金預金		3,682,863
		関西支部勘定		1,460,095
		西部支部勘定		1,267,098
		北海道支部勘定		316,670
		東北支部勘定		639,000
		定期預金		15,022,105
		三菱UFJ銀行		5,000,000
		三井住友銀行		10,022,105
	売掛金			1,110,710
	未収金			1,447,947
	前払金			505,136
	棚卸資産			1,615,927
	立替金			△ 1,716
流動資産合計				47,003,049
(固定資産)				
基本財産				
	基本財産引預金	(定期)三菱UFJ銀行		200,000
特定資産				
	退職給付引預金	(普通)三菱UFJ銀行		3,274,200
	会費補填引預金	(定期)三菱UFJ銀行		9,500,000
その他固定資産				
	電話加入権			30,550
	借室保証金			3,488,000
固定資産合計				16,492,750
資産合計				63,495,799
(流動負債)				
	未払金			427,070
	前受金			354,000
	預り金			492,226
	給与等源泉徴収			411,268
	諸謝金源泉徴収			80,958
	未払法人税等			70,000
	未払消費税等			451,177
流動負債合計				1,794,473
(固定負債)				
	退職給付引当金			3,274,200
固定負債合計				3,274,200
負債合計				5,068,673
正味財産				58,427,126

予算対比正味財産増減計算書

2019年 1月 1日から2019年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

(単位：円)

科目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A－B) 差異
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[34,518,200]	[34,646,100]	[△ 127,900]
維持会員受取会費	23,400,000	23,150,000	250,000
賛助会員受取会費	2,000,000	2,088,000	△ 88,000
正会員受取会費	9,118,200	9,408,100	△ 289,900
参加会費	[90,000]	[48,000]	[42,000]
新春祝賀会参加会費	90,000	48,000	42,000
事業収益	[26,783,000]	[25,411,126]	[1,371,874]
講演講習会収益	17,681,000	16,912,547	768,453
分析収益	74,000	215,273	△ 141,273
安息香酸収益	3,473,000	2,961,504	511,496
調査研究収益	1,100,000	1,209,044	△ 109,044
会誌別刷売上	423,000	322,785	100,215
広告収益	330,000	435,600	△ 105,600
書籍収益	460,000	449,766	10,234
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,842,000	1,504,607	337,393
総会賛助金	[675,000]	[750,000]	[△ 75,000]
総会賛助金	675,000	750,000	△ 75,000
受取寄付金	[0]	[870,000]	[△ 870,000]
受取寄付金	0	870,000	△ 870,000
雑収益	[483,800]	[519,566]	[△ 35,766]
受取利息	1,800	2,921	△ 1,121
雑収益	482,000	516,645	△ 34,645
経常収益計	62,550,000	62,244,792	305,208
(2) 経常費用			
事業費	[32,153,000]	[45,454,116]	[△ 13,301,116]
給料手当	0	9,759,080	△ 9,759,080
講演講習会運営費	8,045,000	8,564,871	△ 519,871
旅費交通費	3,423,000	3,027,940	395,060
通信運搬費	1,471,000	1,315,310	155,690
調査研究費	0	350,660	△ 350,660
消耗品費	62,000	8,042	53,958
印刷製本費	10,642,000	10,742,056	△ 100,056
支部費	1,400,000	1,400,000	0
広告宣伝費	31,000	20,417	10,583
借室費	0	3,178,963	△ 3,178,963
会議費	387,000	399,425	△ 12,425
諸謝金	2,001,000	1,851,969	149,031
会議・講習会参加費	37,000	0	37,000
分析費	55,000	161,452	△ 106,452
支払寄付金	0	185,392	△ 185,392
安息香酸費	2,779,000	2,368,988	410,012
雑費	1,674,000	1,954,153	△ 280,153
出入金手数料	146,000	165,398	△ 19,398
管理費	[28,495,000]	[17,195,987]	[11,299,013]
給料手当	13,049,000	4,182,463	8,866,537
社会保険料	1,479,000	1,522,773	△ 43,773

科　　目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A－B) 差　異
退職給付費用	406,000	419,800	△ 13,800
労働保険料	182,000	310,453	△ 128,453
福利厚生費	142,000	55,916	86,084
会議費	1,961,000	2,391,000	△ 430,000
旅費交通費	1,231,000	1,139,568	91,432
通信運搬費	1,204,000	1,416,617	△ 212,617
消耗品費	169,000	159,928	9,072
印刷製本費	720,000	1,211,443	△ 491,443
光熱水料費	315,000	304,963	10,037
借室費	4,520,000	1,362,413	3,157,587
保険料	7,000	7,200	△ 200
諸謝金	114,000	89,096	24,904
租税公課	770,000	576,456	193,544
雑費	2,226,000	2,045,898	180,102
出入金手数料	[102,000]	[102,626]	[△ 626]
経常費用計	60,750,000	62,752,729	△ 2,002,729
評価損益等調整前当期経常増減額	1,800,000	△ 507,937	2,307,937
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,800,000	△ 507,937	2,307,937
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	[0]	[26,000]	[△ 26,000]
経常外収益計	0	26,000	△ 26,000
(2) 経常外費用			
過年度損益修正損	[0]	[27,720]	[△ 27,720]
経常外費用計	0	27,720	△ 27,720
当期経常外増減額	0	△ 1,720	1,720
当期一般正味財産増減額	1,800,000	△ 509,657	2,309,657
一般正味財産期首残高	58,936,783	58,936,783	0
一般正味財産期末残高	60,736,783	58,427,126	2,309,657
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	60,736,783	58,427,126	2,309,657

※【配賦前の合計額】

科目	(A) 予算額	(B) 決算額	(A－B) 差異
給料手当	13,049,000	13,941,543	△ 892,543
借室費	4,520,000	4,541,376	△ 21,376

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

平成22年12月期から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日　平成21年10月16日改正　内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1)　資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、売掛金、棚卸資産、立替金、仮払金、前払金、前受金、買掛金、預り金、未払金、仮受金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

(2)　退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度以降において発生すると認められる債務額を計上している。

(3)　会費補填引当金

未納会費等に備えるため、当事業年度における会費収入予算を上限とした額を計上している。

(4)　棚卸資産の評価基準及び評価方法

当事業年度末における会誌及び書籍の在庫額を計上している。

(5)　消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 正味財産に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科　目	前期末残高	当期末残高
基本財産	200,000	200,000
電話加入権	30,550	30,550
借室保証金	3,488,000	3,488,000
退職給付引当預金	2,854,400	3,274,200
会費補填引当預金	9,500,000	9,500,000
合　計	16,072,950	16,492,750
現金預金	39,853,415	42,325,045
売掛金	533,598	1,110,710
未収金	5,879,122	1,447,947
前払金	875,662	505,136
棚卸資産	1,742,744	1,615,927
立替金	2,277	-1,716
仮払金	0	0
合　計	48,886,818	47,003,049
退職給付引当金	2,854,400	3,274,200
合　計	2,854,400	3,274,200
買掛金	0	0
未払金	2,064,498	427,070
前受金	346,800	354,000
預り金	458,506	492,226
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	228,781	451,177
合　計	3,168,585	1,794,473
正味財産	58,936,783	58,427,126

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は，次のとおりである。

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	200,000	0	0	200,000
小　計	200,000	0	0	200,000
特定資産				
退職給付引当預金	2,854,400	419,800	0	3,274,200
会費補填引当預金	9,500,000	0	0	9,500,000
小　計	12,354,400	419,800	0	12,774,200
合　計	12,554,400	419,800	0	12,974,200

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は，次のとおりである。

（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産引当預金	200,000	0	200,000	0
小　計	200,000	0	200,000	0
特定資産				
退職給付引当預金	3,274,200	0	3,274,200	3,274,200
会費補填引当預金	9,500,000	0	9,500,000	0
小　計	12,774,200	0	12,774,200	3,274,200
合　計	12,974,200	0	12,974,200	3,274,200

附　属　明　細　書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記において記載をしている。

2. 引当金の明細

引当金については、財務諸表の注記において記載をしている。

監 査 報 告 書

一般社団法人　日本エネルギー学会
会　　長　　牧野　尚夫　殿

2020年1月17日

監　事　　島田 秀顕

監　事　　水本 明彦

私は、2019年1月1日から2019年12月31日までの2019年会計年度における会計および業務監査を行い、次のとおり報告する。

1．監査の方法の概要

（1）会計監査　　帳簿および関係書類並びに計算書類の正確性を検討した。

（2）業務監査　　理事会およびその他の会議に出席し、理事からの業務報告および関係書類により業務執行の妥当性を検討した。

2．監査意見

（1）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況および財政状態を正しく示していると認める。

（2）事業報告書の内容は事実であると認める。

（3）理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する事実はないと認める。

以　上

第３号議案　2020 年度理事選任の承認の件

理事（交替）

１．2019 年度第 6 回定例理事会（2020 年 1 月 22 日）議決済

藤原　尚樹（フジワラ ナオキ）氏（出光興産株式会社）
谷口 一徳 氏より社内事情により理事を交替

第４号議案　2020 年度事業計画ならびに収支予算の承認の件

2020 年度の主たる事業計画

１．指針

SDGs(Sustainable Development Goals)に謳われているように、持続可能な社会構築に向けて、地球温暖化防止等の環境保全、エネルギー資源の多様化、エネルギー自給率とコスト、安全性などの観点から、より一層の省エネルギーや資源循環を進めながら、化石エネルギー、再生可能エネルギー、原子力などのエネルギーミックスや対応技術を最適化することは、日本のエネルギー・環境政策に課せられた大きな課題である。最近では、2019 年 2 月に資源エネルギー庁にカーボンリサイクル室の設置、2019 年 6 月に「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」の閣議決定を受け、G20 エネルギー環境大臣会合でCCUS/カーボンリサイクル等の技術開発の重要性が盛り込まれ､2050 年以降の脱炭素社会における化石資源のあり方を模索することが喫緊の最重要課題となっている。

エネルギーに関連する各分野において、専門的かつ幅広い情報、人脈を有する当学会は「環境の時代における化石資源と再生可能エネルギーのそれぞれの役割とそれを支える技術」に関する情報発信が大切である。学会活性化の要諦は部会および支部の活性化が基本であり、会員および社会の要望に対応するために、学会の委員会、部会、支部の活動の更なる活性化を図り、諸課題の解決に貢献していく。財務・運営タスクフォースの提言に沿って財務を強化しつつ、諸活動を進める。

２．委員会・部会・支部の活動方針および行事計画等

（１）委員会活動方針

委員会	活動方針
企画委員会	①　部会・支部と連携し、活発な学会活動を推進するための方策を検討する。 ②　産・官・学や他学会と連携を図り、地球環境問題などの課題への対応を検討する。 ③　会員に特典を供与するため、会員へのサービスの改善を検討する。 ④　理事会、会員増強委員会と連携し、維持会員サービスの向上および維持会員の拡充を推進する。 ⑤　ホームページの充実やメディア対応など積極的な広報活動を推進する。
総務委員会	①　一般社団法人に対応したガバナンスの向上（規程の見直し等）を図る。 ②　学会の運営について随時必要な改善を図る。 ③　規程に沿って、事務局の人事体制を効率化、強化を図る。
財務委員会	①　学会経営の健全性を確認しながら、厳しい経済環境に対応して今後の安定的運営策を策定する。 ②　財務・運営タスクフォースのフォローや中期計画の実施を通じて、財務収支の黒字基調を継続する。安定運営に必要な正味財産を確保する。
表彰委員会	①　表彰委員会において、応募件数増に繋がるよう対策を検討する。特に維持会員の新技術が応募対象になるよう周知方法等を検討する。 ②　功績賞、技術部門の候補については応募が広がるように検討する。 ③　必要に応じて表彰規程および表彰規程実施要領を改訂し、選考を適切に実施し、より有意義な表彰を行う。
会員増強委員会	①　会員にとってより魅力ある学会にする為の具体策について理事会、企画委員会と連携して検討し実施する。 ②　エネルギー、環境に関連する各種団体、企業等の入会勧誘策を検討して実施する。 ③　維持会員増強を理事の協力のもと具体的に進める。
編集委員会	①　学会誌の２誌体制移行に伴い、変更した編集方針に基づき、各誌編集小委員会において会誌の一層の充実を図る。 ②　各部会との連携（特集記事／トピックス、講座の企画など）を強化する。 ③　Annual Review 号（9 月号）の各分野の内容を充実して継続する。 ④　機関誌えねるみくすの全記事を J-STAGE に掲載する。 ⑤　機関誌えねるみくす電子化に伴い、電子版の充実を検討する。 ⑥　インパクトファクター取得等について検討を引き続き進める。

委員会	活動方針
出版委員会	① 各種図書のタイムリーな出版に向けて、編集小委員会、各編集WG・執筆者・出版会社・学会事務局との調整を図りながら推進する。 ② 学会誌の特集記事、講座等を活用して出版への企画を行う。
国際委員会	① 学会の各種企画や年次大会において、各部会等と協力しながら海外からの講演を推進する。 ② アジア・太平洋地区の関係者と情報交換を通じて協力・連携を図る。
大会実行委員会	① 第29回年次大会(8/5～6)（富山国際会議場)を円滑に推進する。 ② 大会の中でタイムリーな内容の特別講演、基調講演等を企画、実施する。 ③ 大会の中で論文賞の表彰を行い、学会誌への論文投稿を促す。 ④ 大会の中で幹事会の開催など各部会の活動を促す。
100周年記念事業委員会 100周年記念事業実行委員会	① 事業委員会は、100周年記念事業に関する意思決定機関として審議、承認を行う。 ② 実行委員会は、(i)100周年記念事業の内容や時期を企画し、(ii)各部会・支部、編集委員会、出版委員会、大会実行委員会等（実施主体）に具体的な実施計画策定を依頼、(iii)その結果を集約、討議の上、(iv)事業委員会（もしくは直近の理事会）への報告や諮問を行う。

（２）部会活動方針および行事計画等

部会	活動方針	行事計画等
石炭科学部会	① 石炭科学会議の活性化を図るため、多くの石炭研究および技術開発分野を取り入れるよう積極的な活動を推進 ② 若手研究者・技術者への研究・技術の継承を目的として、石炭科学会議特別セミナー「石炭の研究・技術開発に取り組んで-わたしの自慢-」を企画 ③ 日本学術振興会第148委員会、JCOAL、NEDO等の諸機関との連携を通して，若手石炭研究者や技術者の人材育成推進	① 第 57 回石炭科学会議開催（10/27-29，高松)、日本学術振興会第 148 委員会との合同開催、テクニカルツアー実施 ② サイドイベントとして特別企画～セミナー「石炭の研究･技術開発にとりくんで―わたしの自慢―」（10/26，高松） ③ 実行委員会・幹事会の開催（4 月，8 月，10 月）
コークス工学研究部会	① コークス工学の深化と製造･利用技術の革新のための議論交換の場を提供する。 ② コークス生産技術の深化と関連産業への技術トランスファーおよび石炭資源の有効利用技術について議論する。 ③ 石炭科学部会との連携により､石炭科学会議への研究発表と勧誘活動を行う。 ④ コークス・ノートの発刊により、コークス工学に関する情報の発信と部会員の増加に努める。 ⑤ コークス工学における若手の研究者と技術者間の交流・討議の場を設けて活性化を図る。	① 第 57 回石炭科学会議開催（10/27-29，高松）を石炭科学部会と共同開催。「コークス」セッションの企画，運営、サイドイベントの共催 ② 実行委員会・幹事会の開催（4 月，8 月，10 月） ③ 機関誌 Annual Review 号（9 月号）の「コークス」執筆
重質油部会	① 産学官連携を通じた重質油、特に重質油有効利用拡大を目指した活動を図る。 ② 重質油およびハイドロカーボノミクスの将来の用途、適用可能な要素技術と課題のリストアップを行う。 ③ 重質油の動向に関する情報収集と発信を図る。	① 機関誌えねるみくす特集号の企画 ② 第 57 回石炭科学会議の共催

部会	活動方針	行事計画等
天然ガス部会	① 我が国の基幹エネルギーの 1 つである天然ガスに関して、その利用拡大を更に進めるため、資源、輸送・貯蔵、利用、科学･反応システムの 4 つの分科会において情報交換・情報提供を推進する。 ② 天然ガスシフトを支える天然ガスの高度利用に係る課題全体を、資源開発と天然ガス利用開発の両面から俯瞰した活動を行っていくことを目的として、資源分科会と利用分科会を統合し、資源開発･利用分科会としてその活動を進めていく。 ③ 分科会に加え、非在来型天然ガスとして注目されている CBM・SG（コールベッドメタン・シェールガス）及び GH（ガス・ハイドレート）に係る 2 つの研究会において情報交換及び研究活動を行う。 ④ 各分科会及び研究会では、研究発表、シンポジウム、講習会、見学会等の活動を、独自にまたは合同で行い、部会メンバー（及び天然ガスに関心を持つ人達）の情報の共有や交流を深めていく。 ⑤ 機関紙えねるみくすに天然ガス関連の記事掲載を企画していく。	① 部会全体 部会員のための部会メールによる情報提供やホームページの充実を図っていく。 ② 分科会 各分科会で見学会、講演会等を実施する。 ③ 研究会 各研究会で各々数回の研究会を実施する。
バイオマス部会	① バイオマス関連の情報交換、情報発信の場とする部会としての目的を遂行する。	① 年次大会(8 月)にて総会の開催 ② 夏の学校(9 月頃予定) ③ 第 8 回アジアバイオマス科学会議（11 月、タイ）実施 ④ バイオマス関連部会・研究会合同交流会への協賛 ⑤ 三部会（RGB）シンポジウム（ガス化部会・リサイクル部会と合同） ⑥ アジア・バイオマス協議会への協力 ⑦ ホームページの拡充、ホームページへの広告募集、出版、編集への協力、受託調査等への協力
新エネルギー・水素部会	① 学会内において新エネルギー・水素関連技術開発(再生可能エネルギー、未利用エネルギー、水素エネルギー等の利用に関する技術開発)に関連する研究の促進や活性化を図る。 ② セミナー開催やメーリングリスト等を通して、上記の研究分野の最新研究動向を発信し、研究者間の情報交換や交流を行う。 ③ 上記の研究を行っている関係者で日本エネルギー学会に加入していない方々の学会への入会を促す。 ④ 年次大会での会員の研究発表を積極的に行うと共に、学会への加入を促しつつ非会員へも発表を勧誘する。	① 新エネルギーや水素関連技術のセミナー・見学会の開催（1 月の第 4 回シンポジウムなど） ② 水素エネルギーに関する本の出版に向けた協議 ③ 総説特集の企画 ④ 年次大会(8 月)への積極的な研究発表ならびに参加者勧誘 ⑤ 新エネルギー・水素エネルギー技術の開発や促進を行っている他団体との交流、特に世界水素エネルギー会議を積極的な交流の場として活用する ⑥ 部会ホームページの更新・拡充 ⑦ メーリングリストによる情報発信

部会	活動方針	行事計画等
ガス化部会	① シンポジウムを年１回開催し、リサイクル部会、バイオマス部会との合同とする。 ② 見学会、勉強会等を適時開催し、他部会および他学協会との連携も視野に入れる。	① 幹事会 ② 三部会（RGB）シンポジウム（リサイクル部会、バイオマス部会と合同）（5 月）
燃焼部会	① 気候変動問題に対応する実践的な燃焼技術の調査を行ない，燃焼技術者を育成する。 ② 燃焼技術や環境技術に関連する先進的施設の見学会や燃焼の講習会，エネルギー学会大会への発表を通して，社会への啓蒙や貢献を行う。 ③ 委員の若返りを図り，活動を活性化する。	① 見学会の開催（10 月頃） ② 燃焼の基礎に関する講習会の開催（11 月頃） ③ 部会・幹事会の開催（3 回/年） ④ 大会でのセッションの企画
液体微粒化部会	① 会員へのフィードバックおよび部会委員参画のメリットに重点をおいた方向で部会活動を進める。 ② 会誌「えねるみくす」へ向けた微粒化関連記事の協力を行う。	① 第 16 回微粒化セミナー（11 月頃予定，日本液体微粒化学会と共同主催） ② 第 29 回微粒化シンポジウム（12 月 17,18 日桐生 開催予定） ③ 部会委員会（年 3 回程度）
リサイクル部会	① 部会企画行事により情報収集、情報交流の場を設ける。 ② 部会活動の成果をまとめ、社会に提言する。 ③ 循環型社会構築に資する活動を行う。 ④ 他の部会や学会との連携による活動を行う。	① 部会および幹事会 ② 三部会（RGB）シンポジウム（ガス化部会・バイオマス部会と合同）（5 月） ③ 部会主催講演会や見学会(廃棄物資源循環学会やプラスチックリサイクル化学研究会と共同開催予定)
省エネルギー・消費者行動部会	① 省エネルギーセンター等との連携を強化し、活動方針に沿った活動を行う。 ② 環境と調和した新しいエネルギー需給構造、社会システムの構築に向けて検討を進める。 ③ 省エネルギー技術者、研究者の連携推進、省エネルギー技術シーズの「実用化」、「導入・普及」の促進への貢献を目指す。	① EECB公開セミナー（省エネ、消費者行動関連）や見学会の開催 ② 「エネルギー学」部会及び他部会との連携講演会や見学会の開催 ③ 年次大会における省エネルギー・消費者行動部会セッションの開催 ④ 幹事会（年3回程度）

部会	活動方針	行事計画等
「エネルギー学」部会	① シンポジウム（セミナー）の開催：他学会、他部会との共催も含めて、シンポジウム（セミナー）を開催していく。 ② エネルギー政策に関する意見交換を行う。 ③ エネルギー知識の啓蒙：エネルギー知識啓蒙のための単行本の出版を検討する。	① シンポジウム（セミナー）の開催。 ・福島県の地熱発電・風力発電の勉強会の開催 ・その他シンポジウム(セミナー)・見学会の開催を検討中。 ② 他部会、他学会とのセミナー・セッションの共催。 ③ 年次大会における「エネルギー学」セッションの開催 ④ 第5次エネルギー基本計画：2050への提言”に関して、外部機関を含めて意見交換会を行う。 ⑤ エネルギー・資源学会と共同でエネルギー検定の問題の改定を行う。エネルギー知識普及のための単行本の出版の検討 ⑥ 幹事会(年 3 回程度)
若手研究者の勉強会	① 産・学・官における若手研究者が意見交換できる場を提供し、懇親を深め、今後の研究・開発を合目的かつスムーズに進めていくための研究者間の人と知識の有機的なネットワークを構築していく。 ② 2050 年のエネルギー社会像をキーワードとして、各部会の若手（40 歳未満）の交流と意見交換を活発化するためワークショップを開催する。	① 勉強会の開催 （8 月年次大会期間中） ② 幹事会（年 1～2 回程度） ③ 2050 年のエネルギー社会を考えるワークショップの開催

（３）支部活動方針および行事計画等

支部	活動方針	行事計画等
北海道支部	① 北海道内の関連機関の実態を踏まえ、地域性を生かした「エネルギー・資源・環境」に関わる主催行事を開催する。 ② 北海道内の他の学協会等との有機的連携ならびに各種事業の共催・協賛を積極的に推し進め、支部会員への情報発信の強化を図る。	① 第 20 回北海道エネルギー資源環境研究発表会（1/28：北海道大学工学部材料・化学系棟中会議室） ② 施設見学会（主催） ③ 日本化学会北海道支部 2020 年夏季研究発表会（共催） ④ 北海道エネルギー懇話会講演会（共催） ⑤ 日本学術振興会石炭・炭素資源利用技術第 148 委員会研究会（共催） ⑥ 第 10 回エネルギー・マテリアル融合領域シンポジウム（協賛） ⑦ 幹事会・総会（1 月） ⑧ 庶務幹事会（奇数月）

支部	活動方針	行事計画等
東北支部	① エネルギーに関わる講演会や研究会を企画開催する。 ② 東北・新潟地区における産学官の連携を促進する。 ③ 他の学協会との連携や共催を進める。	① 講演会および見学会の開催(10 月下旬～11 月中旬（予定）：秋田市) ② 他関連学協会との共催行事 ・第 12 回製鉄・資源に関する Workshop (還元研究会)(1/23-24：仙台，共催) ・東北再生可能エネルギー研究会 令和元年度総会・講演会(2/7：仙台，後援) ・火力原子力発電技術協会東北支部 令和元年度技術講演会および見学会(協賛) ・学都 仙台・宮城サイエンスデイ (仙台市，名義後援) ・化学工学会東北支部 第 25 回東北ジョイント夏季セミナー(秋田県，協賛) ・火力原子力発電技術協会東北支部 令和 2 年度技術講習会および見学会(協賛) ・第 25 回基礎化学工学講習会（協賛） ・再エネテクノブリッジ(後援) ③ 役員会(5 月，11 月(予定))
関西支部	① 石炭、重質油のみならずバイオマス等の新エネルギーも含めたセミナー等を通して横断的にエネルギーに関する情報と討論の場を提供する。 ② エネルギー源のみならず省エネルギーなどのエネルギーの有効な使用方法に関する情報の場を提供する。	① 見学会(7月) ② 「エネルギーの未来を担う若手のためのコロキウム2020」（石油学会関西支部共催）(8月) ③ 第36回セミナー(10月)（石油学会関西支部共催) ④ 第65回研究発表会（石油学会関西支部共催）(12月) ⑤ 幹事会(1月，4月，7月，10月)
西部支部	① 石炭，水素，バイオマスをキーワードとしたシンポジウム、セミナーを継続 ② 九州経済産業局殿と連携し、西部支部の地域性を生かしたセミナーの企画 ③ 地域の学生・若手の育成および研究への活力を活性化のため、学生・若手研究発表会を実施 ④ 九州大学グリーンテクノロジー研究教育センター殿等と連携し、海外への CCT 技術移転などを見据えた勉強会、セミナーを通じた知識の深化を図る。 ⑤ 地域のエネルギーをキーワードとした新たな取組み方針を検討 ⑥ 他学会（石油学会，機械工学会，化学工学会等）の関連支部との連携による学会活動の活性化	① 低炭素システム研究会（共催，10 月） ② 講演会および見学会の開催（6 月） ③ 支部企画研究発表会の開催(11 月) ④ 他学会関連支部行事の協賛 ⑤ 役員会（6 月，8 月，11 月）

収支予算書

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

科　　目	(A) 予算額	(B) 前年度予算額	(A－B) 増　減
(単位：円)			
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[33,458,000]	[34,518,200]	[△ 1,060,200]
維持会員受取会費	23,000,000	23,400,000	△ 400,000
賛助会員受取会費	1,880,000	2,000,000	△ 120,000
正会員受取会費	8,578,000	9,118,200	△ 540,200
参加会費	[48,000]	[90,000]	[△ 42,000]
新春祝賀会参加会費	48,000	90,000	△ 42,000
事業収益	[21,354,000]	[26,783,000]	[△ 5,429,000]
講演講習会収益	13,000,000	17,681,000	△ 4,681,000
分析収益	200,000	74,000	126,000
安息香酸収益	3,000,000	3,473,000	△ 473,000
調査研究収益	1,100,000	1,100,000	0
会誌別刷売上	350,000	423,000	△ 73,000
広告収益	194,000	330,000	△ 136,000
書籍収益	410,000	460,000	△ 50,000
支部収益	1,400,000	1,400,000	0
会誌掲載料	1,700,000	1,842,000	△ 142,000
総会賛助金	[650,000]	[675,000]	[△ 25,000]
総会賛助金	650,000	675,000	△ 25,000
雑収益	[211,800]	[483,800]	[△ 272,000]
受取利息	1,800	1,800	0
雑収益	210,000	482,000	△ 272,000
経常収益計	55,721,800	62,550,000	△ 6,828,200
(2) 経常費用			
事業費	[26,671,000]	[32,153,000]	[△ 5,482,000]
講演講習会運営費	6,464,000	8,045,000	△ 1,581,000
旅費交通費	2,367,000	3,423,000	△ 1,056,000
通信運搬費	825,000	1,471,000	△ 646,000
消耗品費	7,000	62,000	△ 55,000
印刷製本費	8,977,000	10,642,000	△ 1,665,000
支部費	1,400,000	1,400,000	0
広告宣伝費	0	31,000	△ 31,000
会議費	296,000	387,000	△ 91,000
諸謝金	1,804,000	2,001,000	△ 197,000
会議・講習会参加費	0	37,000	△ 37,000
分析費	150,000	55,000	95,000
安息香酸費	2,400,000	2,779,000	△ 379,000
雑費	1,820,000	1,674,000	146,000
出入金手数料	161,000	146,000	15,000
管理費	[28,569,000]	[28,495,000]	[74,000]
給料手当	13,100,000	13,049,000	51,000
社会保険料	1,550,000	1,479,000	71,000
退職給付費用	420,000	406,000	14,000
労働保険料	310,000	182,000	128,000
福利厚生費	68,000	142,000	△ 74,000
会議費	2,000,000	1,961,000	39,000
旅費交通費	1,200,000	1,231,000	△ 31,000
通信運搬費	1,200,000	1,204,000	△ 4,000

科　　目	(A) 予算額	(B) 前年度予算額	(A－B) 増　減
消耗品費	160,000	169,000	△ 9,000
印刷製本費	720,000	720,000	0
光熱水料費	320,000	315,000	5,000
借室費	4,604,000	4,520,000	84,000
保険料	7,000	7,000	0
諸謝金	90,000	114,000	△ 24,000
租税公課	770,000	770,000	0
雑費	2,050,000	2,226,000	△ 176,000
出入金手数料	[120,000]	[102,000]	[18,000]
経常費用計	55,360,000	60,750,000	△ 5,390,000
評価損益等調整前当期経常増減額	361,800	1,800,000	△ 1,438,200
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	361,800	1,800,000	△ 1,438,200
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	361,800	1,800,000	△ 1,438,200
一般正味財産期首残高	58,427,126	58,936,783	△ 509,657
一般正味財産期末残高	58,788,926	60,736,783	△ 1,947,857
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	58,788,926	60,736,783	△ 1,947,857

収支予算書内訳表

2020年 1月 1日から2020年12月31日まで

一般社団法人日本エネルギー学会

（単位：円）

科目	実施事業会計		その他事業会計				法人会計	合計
	会誌発行	表彰事業	講演講習会	依頼分析	調査研究	書籍	法人会計	
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取会費	0	0	0	0	0	0	33,458,000	33,458,000
維持会員受取会費	0	0	0	0	0	0	23,000,000	23,000,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	1,880,000	1,880,000
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	8,578,000	8,578,000
参加会費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
新春祝賀会参加会費	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
事業収益	2,194,000	0	14,600,000	3,200,000	1,100,000	260,000	0	21,354,000
講演講習会収益	0	0	13,000,000	0	0	0	0	13,000,000
分析収益	0	0	0	200,000	0	0	0	200,000
安息香酸収益	0	0	0	3,000,000	0	0	0	3,000,000
調査研究収益	0	0	0	0	1,100,000	0	0	1,100,000
会誌別刷売上	350,000	0	0	0	0	0	0	350,000
広告収益	144,000	0	50,000	0	0	0	0	194,000
書籍収益	0	0	150,000	0	0	260,000	0	410,000
支部収益	0	0	1,400,000	0	0	0	0	1,400,000
会誌掲載料	1,700,000	0	0	0	0	0	0	1,700,000
総会賛助金	0	0	0	0	0	0	650,000	650,000
総会賛助金	0	0	0	0	0	0	650,000	650,000
雑収益	10,000	0	55,000	40,000	0	5,000	101,800	211,800
受取利息	0	0	0	0	0	0	1,800	1,800
雑収益	10,000	0	55,000	40,000	0	5,000	100,000	210,000
経常収益計	2,204,000	0	14,655,000	3,240,000	1,100,000	265,000	34,257,800	55,721,800
(2) 経常費用								
事業費	10,671,000	867,000	11,665,000	2,583,000	855,000	30,000	0	26,671,000
講演講習会運営費	0	0	6,464,000	0	0	0	0	6,464,000
旅費交通費	350,000	430,000	1,387,000	0	200,000	0	0	2,367,000
通信運搬費	698,000	21,000	51,000	0	55,000	0	0	825,000
消耗品費	0	0	7,000	0	0	0	0	7,000
印刷製本費	8,000,000	0	947,000	0	0	30,000	0	8,977,000
支部費	0	0	1,400,000	0	0	0	0	1,400,000
会議費	60,000	10,000	226,000	0	0	0	0	296,000
諸謝金	980,000	0	824,000	0	0	0	0	1,804,000
分析費	0	0	0	150,000	0	0	0	150,000
安息香酸費	0	0	0	2,400,000	0	0	0	2,400,000
雑費	520,000	400,000	300,000	0	600,000	0	0	1,820,000
出入金手数料	63,000	6,000	59,000	33,000	0	0	0	161,000
管理費	0	0	0	0	0	0	28,569,000	28,569,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	13,100,000	13,100,000
社会保険料	0	0	0	0	0	0	1,550,000	1,550,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	420,000	420,000
労働保険料	0	0	0	0	0	0	310,000	310,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	68,000	68,000
会議費	0	0	0	0	0	0	2,000,000	2,000,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	1,200,000	1,200,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	1,200,000	1,200,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	160,000	160,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	720,000	720,000
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	320,000	320,000
借室費	0	0	0	0	0	0	4,604,000	4,604,000
保険料	0	0	0	0	0	0	7,000	7,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	90,000	90,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	770,000	770,000
雑費	0	0	0	0	0	0	2,050,000	2,050,000
出入金手数料	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
経常費用計	10,671,000	867,000	11,665,000	2,583,000	855,000	30,000	28,689,000	55,360,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,467,000	△ 867,000	2,990,000	657,000	245,000	235,000	5,568,800	361,800
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,467,000	△ 867,000	2,990,000	657,000	245,000	235,000	5,568,800	361,800
2．経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,467,000	△ 867,000	2,990,000	657,000	245,000	235,000	5,568,800	361,800
一般正味財産期首残高	△ 138,554,762	△ 10,854,748	52,980,118	3,885,339	△ 3,566,978	12,320,630	142,217,527	58,427,126
一般正味財産期末残高	△ 147,021,762	△ 11,721,748	55,970,118	4,542,339	△ 3,321,978	12,555,630	147,786,327	58,788,926
Ⅱ 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 147,021,762	△ 11,721,748	55,970,118	4,542,339	△ 3,321,978	12,555,630	147,786,327	58,788,926